



PUBLIC RELATIONS KAMIKOANI

広報

かみこあに

令和7年
4月号
No.795



主な内容

上小阿仁中学校卒業式

3月8日、上小阿仁中学校で卒業証書授与式が行われ、8人が新たな一歩を踏み出しました。(関連3ページ)

2~3P
8~9P
10~11P
18~20P

主な出来事
令和7年度予算について
役場職員の配置について
令和7年度前期分の公共工事発注見通し

上小阿仁村PRキャラクター
こあびよん

上小阿仁村教育委員会 教育長に山田 仁美氏

3月24日に開催された臨時会において、教育長の人事案件が同意されました。



山田 仁美氏
(沖田面)

■主な経歴

- ・平成3年 仁賀保町立仁賀保中学校（現にかほ市立仁賀保中学校）他、県内の中学校 教諭
- ・平成25年 北秋田市教育委員会学校教育指導主事
- ・令和4年 県教育庁北教育事務所鹿角出張所 所長
- ・令和5年4月1日～ 令和7年3月31日 上小阿仁村立上小阿仁小中学校 校長

■任期

令和7年4月1日～
令和9年5月20日

(故)石川 富三氏 旭日単光章を受章

3月21日、故石川富三氏への叙勲の伝達式が行われました。式では、「旭日単光章」の叙勲状と勲章が、北秋田地域振興局の岡部局長から長女の石川悦子氏に伝達されました。

■主な経歴

- ◇平成7年5月～平成23年4月 上小阿仁村議会議員
- ◇平成19年5月～平成23年4月 上小阿仁村議会副議長
- ◇平成2年7月～平成23年7月 上小阿仁村農業委員会委員
- ◇平成17年7月～平成20年7月 上小阿仁村農業委員会会長
- ◇昭和61年4月～平成16年4月 上小阿仁村土地改良区理事



叙勲を受け取る石川悦子氏

令和6年度秋田県 消防功労者表彰式

3月25日、秋田県消防功労者表彰式が秋田県庁正庁で開かれ、上小阿仁村消防団の武石聡氏（羽立）が消防庁長官表彰 功労章を、田中寿氏（小沢田）が功績章を、石上敏氏（羽立）が功績章を受章しました。武石氏は消防団長を5年以上務めるなどの長年の功績が認められ、田中氏と石上氏はこれまでの長年の功績が認められての受章となりました。



武石 聡氏(羽立)



田中 寿氏(小沢田)



石上 敏氏(羽立)

災害時における応援協力 に関する協定締結式

3月17日、上小阿仁村と秋田県解体工業協会（小野雅敏代表理事）は、災害発生時における応援協力に関する協定を締結しました。協定には、災害が発生した場合に村の要請に応じて、建設機械の提供や技術員の派遣などが定められています。

小林村長は「本日、このような協定を締結していただき、大変ありがたいと思っております。上小阿仁村では、豪雨になるたびに河川に土砂や流木が流れてきます。災害を予防するためこの土砂や流木の撤去にご協力いただきたいと思います。併せて、人命救助や災害復旧への対応もお願いいたします」と謝辞を述べました。



災害時における応援協力協定

地域おこし協力隊 3人が退任

3月7日に地域おこし協力隊の折笠昭宏隊員、3月31日に中宮多香子隊員と菅沼悠隊員の退任式が役場で行われました。

折笠隊員は関係人口コーディネーターとして、村内外への上小阿仁村のPRのほか、スマホやパソコンの操作体験会やラジオ出演など多岐にわたる活動に取り組みました。中宮隊員も関係人口コーディネーターとして上小阿仁村のPRのほか、お菓子作りなどで村民との交流に取り組みました。菅沼隊員は移動販売に携わり、巡回した各集落の方と買い物を通して交流し、笑顔を届けました。



退任する協力隊の皆さん

上小阿仁中学校卒業式

3月8日、上小阿仁中学校の卒業証書授与式が行われ、男子3人、女子5人の卒業生が学び舎から巣立ちました。

式では、山田校長から生徒一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業生を代表し、平川柚葵さんが「この学び舎で過ごした宝物のような9年間を忘れることなく、ここで培った力を原動力にし、私達8人は新たな世界でも頑張り続けます」と巣立ちの言葉を述べました。最後に、卒業生らは先生や在校生らに見送られながら、3年間過ごした学び舎をあとにしました。



卒業した8人の生徒

上小阿仁小学校卒業式

3月14日、上小阿仁小学校の卒業証書授与式が行われ、男子5人、女子5人が6年間の小学校生活を終えました。

学生服とセーラー服に身を包み、緊張しながらも堂々と入場した卒業生たちは、山田校長から卒業証書を受け取りました。山田校長が「10名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。苦しいことやつらいことから逃げずに、仲間と共に最高にカラフルな道を描けるような生き方を貫いてください」と式辞を述べました。卒業生は、新しい中学校生活への希望を胸に旅立ちました。



卒業した10人の児童

かみこあに保育園卒園式

3月22日、かみこあに保育園の卒園式が行われました。

男子3人、女子1人の卒園児は、点呼の後、小林園長から卒園証書を受け取りました。小林園長は「ゆり組の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは本当に仲良しの4人でした。小学校に行ってもずっと仲の良い友達でいてください」と挨拶しました。その後、高橋教育長から手渡された真新しいランドセルと黄色い帽子を身に付けて、小学校への期待に胸を高鳴らせながら卒園しました。



新生活に胸が高鳴ります

施政方針

令和7年3月上小阿仁村議会定例会の開会にあたり、村政の運営について、議員並びに村民の皆様に必要な考え方を申し上げます。

石破茂内閣総理大臣が施政方針の中で、今や、我が国は、「人材希少社会」に入っています。

人材を大事にする社会づくりを国民一人ひとりの幸福実現のために、人中心の国づくりを進め、すべての人が幸せを実感できる、人を財産とする「人財尊重社会」を築いていく必要があると述べております。

加えて、食糧自給力、エネルギー自給率が低い現状では、外的な事象に国民生活が大きく影響を受けてしまう懸念があるので、より自立した形で国民生活を守るため、戦略的な国家運営が必要であるとも言っております。

村は、国の方針を尊重しながら、①3年連続の豪雨災害の復旧と②災害防止事業を推進し、③村の総合計

画の策定を進めてまいります。

1つ目の災害復旧にあたっては、昨年の7月25日からの3年連続の豪雨災害において、私の携帯電話に国土交通省から何回も電話が入りました。

被害の規模が大きく、村には、技術職員がおりませんので、国からの職員派遣をお願いしました。

あわせて、秋田県からも来ていただき、毎日、20人近い技術職員が村の職員と一緒に災害現場と調査資料づくりに夜遅くまで対応していただきました。

その結果、約20億円という大きな被災報告となりました。

その後も県からの職員派遣によって、国の災害査定を終え、実施設計に基づく工事発注に向けて作業を進めております。

道路や河川、林道、水道施設や農地などについて、村民のため早急な災害復旧をしていくものです。

2つ目の防災事業は、3年連続の豪雨となり、今後、毎年、地球温暖化による異常気象があるものとして、豪雨の対応をしてまいります。

災害の時、一番大切なことは、自

分の命を守ることです。

いち早く、安全なうちに安全な所に逃げていただくことだと思っております。

2年前の7月15日からの豪雨時、萩形ダムからは、毎秒50トンの放流がされておりました。

しかし、太平山に降った雨は、あまりにも多く、秋田市側は、大災害となりました。

萩形ダムには、6倍以上の毎秒約300トンの水が流入しました。

そして、萩形ダムが満水になることから、ダムに入ってくる水をそのまま放流するという、これまで経験したことのない緊急放流が行われました。

これによって、村民は、緊急避難をすることとなり、避難所で一夜を明かしました。

もう一つのダムがあれば、洪水被害や緊急避難をすることもなかったと思っております。

災害時に困ったことは、食べ物や水、電気のない生活でした。

ごはんが食べられない、お風呂に入れない、トイレが使えない、テレビが見れない、冷房や暖房が使えな

いなどの不便な生活を村民のみならずにさせてしまいました。

洪水を防ぐ効果の大きいダムと山林の整備は、水力発電によって、安定的にきれいな飲料水や農業用水を確保し、発電した電気を供給していくものです。

村の資源を活用して整備をすることで、自然エネルギーによる脱炭素化を推進し、企業の誘致や既存企業の支援につなげて、働く場の拡大と若者定住を図ってまいります。

ほんの60年位前の村は、萩形ダムや山林に関わる事業などによって、たいへん賑わっておりました。

再び、賑わいを取り戻す防災ダムと山林整備、水力発電などの整備によって、村民の命と財産を守っていくものです。

3つ目の総合計画の策定については、全国的に人口が減少する中、村にたくさんあるものや村にしかないものを活用することで、新しい事業展開をして、子どもを育てやすい環境にします。

村は、小水力発電可能性調査で10か所を調査し、4か所で発電の事業化が可能との報告を受けています。

また、全部の集落を対象に行政懇談会を開催し、貴重な提言をたくさんいただいております。

すぐに対応できるものは、事業化させていただきました。

今後、行政懇談会での提言や防災ダム、山林整備、水力発電などを総合計画に盛り込んで計画的に事業実施していくものです。

総合計画は、三本の柱を基本方針にして策定します。

第1番目は、村民の健康です。

それは、健康で長生きしていただくことです。

そのために、病気や要介護にならないように、予防事業に力を入れてまいります。

また、病気や要介護になっている人には、治療とリハビリに支援をしていくものです。

そして、低所得世帯の支援です。

少ない収入から、税金や国民健康保険税、介護保険料などを支払っていただいております。

残ったお金で、衣類や食料品、光熱費などを支払っております。

物価高騰の社会状況に対応する生活支援に力を注いでまいります。

第2番目は、雇用の拡大です。

雇用の拡大については、防災ダムや山林の整備、水力発電の復活による化石エネルギーから自然エネルギーへの転換に向けて、村に眠っているたくさん資源による既存事業の見直しや新しい事業によって、産業おこしをしてまいります。

そして、民間に大いに儲けていただき、最初に、従業員の賃金を上げていただき、再び、事業者に利益が還元されると思っております。

もどってきた利益を設備投資に活用していただくことによって、村の産業経済は良好なものになると信じております。

村は、公共事業を発注し、民間でできることは、民間で対応して、事業検証しながら再び挑戦する商工業を側面から応援してまいります。

第3番目は、教育の充実です。

子どもは、村の宝です。

村は、先人の教えを承継し、教育立村を提唱してまいりました。

子どもは、保護者だけでなく、地域住民が一体となって育てていきます。

そして、子どもは自ら育っていくものだと思います。

むかし、村民が生活に苦しんでいた時、村は、木を切り学校を建てました。

この時、他の市町村からは、上小阿仁村は教育を大切に作る村だと言われたそうです。

村の自慢は、子どもたちです。少数精鋭で他地域に挑戦していくものです。

そのための子育てや教育環境を他地域では享受できない最高のものにしていきます。

そして、学校教育だけでなく、社会教育や文化・スポーツ活動にいたるまで、だれでもが公平にやりたいことができるような環境整備をしていくものです。

この三本の柱を基本にこれから村の総合計画を策定して、村民が安心して長生きのできる村にするものです。

持続可能な村を作り、維持していくためには、自然にやさしい、人間にやさしい農業や、森林整備、社会教育活動や健康づくり、人づくりが重要であると思っております。

事業推進について、知識がなければ、知識のある人に教えてもらうことや、やれる人をお願いすることも大切だと思っております。

まず、やってみて、ダメだったら、なぜダメなのかを検証し、見直しをして、再度の挑戦をすることで、村は良くなると思っております。

議員並びに村民の皆様の力と知恵をお借りして、「利他の心で、情熱を持って、道徳を重んずる」、「人にやさしい、健康で安心して生活できる村」にしてまいります。

村のより良い将来のために、ご支援とご協力、そして、一緒に事業推進していただくことをお願い申し上げます。新年度の施政方針といたします。

3月定例会

行政報告要旨

令和6年度補正予算について

今定例会提出の一般会計補正予算は、普通交付税の追加交付や事業費の確定見込み等による減額補正が主なものとなっております。

また、特別会計につきましては、年度末の調整による補正となっております。

年度内に完了が困難な一般会計5事業につきましては、繰越明許費を設定しております。

人事関係について

令和6年度末の退職者は定年引き上げにより61歳を迎える職員が1名となっております。

現在3名の再任用職員については、65歳到達などで2名が退職し、1名が延長する予定となっております。

また、令和6年度から秋田県町村電算システム共同事業組合に派遣している職員1名は、令和7年度末までの派遣となります。

本村においては、一般行政のほか、社会福祉士、保健師、看護師、保育士の専門職の募集も行っておりますが、公務員志望者は国、地方ともに減少傾向が続いております。今年度確保できなかった職種も含め、引き続き人材の確保に努めてまいります。

豪雨災害への善意について

令和7年2月14日、大館市立桂城

小学校6年生一同と、株式会社花善様より、上小阿仁村の豪雨災害の復旧に役立てて欲しいと4万5000円の寄付をいただきました。この日は、児童43名全員と花善の代表取締役社長が役場を訪れ、児童の代表が、大館あめっこ市でのコラボ弁当の収益の一部から、児童が考えて上小阿仁村への寄付を決めたことなどが紹介されました。

豪雨災害に対しては、多くの方々から、あたたかいご支援をいただいております。あらためて感謝申し上げます。

なお、昨年の豪雨災害で村の被災者に入浴サービスを無料で提供していただいた、縄文の湯と赤倉山荘には、村から感謝状を贈らせていただいております。

北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合について

2月7日、北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合定例議会が開催され、令和7年度当初予算等について審議しております。

令和7年度当初予算につきましては、総額8千457万3千円で、前年度当初予算と比較して2万1千円の増額となっております。村の負担金につきましては、398万2千円で、13万1千円の増額となっております。増額の主な理由は、火葬場管理費の増加によるものとなっております。

長下処分場の粗大ごみの受入れにつきましましては、12月末現在444トンで、内訳は自己搬入粗大ごみ206トン、家屋解体材8トン、市村収

集粗大ごみ5トン、クリーンアップごみ等2トンのほかに、大雨災害による水没家財や農地への流木等223トンを受け入れており、前年同期に比較して全体で74トンの増となっております。増加の原因は、昨年7月、8月の大雨による災害廃棄物の受入れによるものです。

健康づくり事業・介護予防事業について

健康づくりや介護予防を目的とした事業につきましては、感染症対策に細心の注意を払い、参加者の状態等も考慮しながら実施しております。集落単位の健康教室等につきましては、各集落の保健補導員等が中心となり自主的な活動として実施していただいておりますが、要請があった集落に対し、保健師及び管理栄養士を派遣し、健康講話などを実施しております。

予防接種事業について

予防接種につきましては、本年度も季節性インフルエンザワクチンを接種した全村民を対象に自己負担額の全額助成を行っております。

10月からの実施で951名（定期接種582名、任意接種369名）が接種を完了しており、前年度同時期と比較して50名（定期接種39名、任意接種11名）の減となっております。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、医療機関等での個別接種となり、65歳以上の方は季節性インフルエンザと同様に定期予防接種となりました。10月からの実施

で定期接種262名、任意接種105名の方が接種を受けております。定期予防接種以外の任意予防接種につきましては、村では季節性インフルエンザ・带状疱疹・風しん・子宮頸がんワクチンの接種や、65歳以上で肺炎球菌ワクチン未接種者に対し接種費用の助成をしております。

令和7年4月1日から带状疱疹のワクチン接種について、65歳の方は定期接種の対象となります。令和7年度から令和11年度までの5年間の経過措置として、当該年度における70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる方が定期接種対象者となります。101歳以上の方については、令和7年度のみ対象となります。

任意予防接種への助成については、50歳から65歳未満の方を対象に、継続して実施してまいります。

高齢者世帯等除雪費助成事業について

高齢者等の冬期間における生活の安全確保を図るため、雪下ろしや除排雪に係る費用に対して、「高齢者世帯等除雪費助成金」を支給しております。

高齢者のみ世帯など、自力での除雪が困難な世帯に対して対象除雪費用の3分の2の助成で、一世帯上限8万円を助成するものです。

申請期限は3月31日で、1月末日現在での申請件数は6件となっております。

消防に係る事務の委託について

消防に係る事務については、平成27年4月1日から北秋田市へ委託し

ておりましたが、その委託期間が令和7年3月31日までとなっております。

地方自治法の規定に基づき、令和7年4月1日から北秋田市へ委託するための議案を上程しております。

米の生産目安について

令和6年12月5日に秋田県農業再生協議会臨時総会が開催され、秋田県の令和7年産米における「生産の目安」が決定されました。

前年と比較して数量で1万7千700トンの増加、面積換算で3千68haの増加となっております。

本村においては、令和7年1月31日に上小阿仁村農業再生協議会臨時総会を開催し、「生産の目安」について、昨年と比較して数量で61トンの増加、面積換算で12・07haの増加で承認されております。

農業振興関係

地域おこし協力隊の募集について

村内の認定農業者のもとでの農業を行い、活動終了後に村内で就業を目指す委託型地域おこし協力隊が来年度4月に着任する予定です。

野外生産試作センターで村の特産作物である食用ほおずき等、畑作物の栽培技術を習得し、農業で定住を目指す雇用型地域おこし協力隊は引き続き募集してまいります。

災害復旧事業について

令和5年7月の豪雨により被災した7件の災害復旧事業は、2月末で4件の工事が完了しております。残る3件についても早期の復旧に

努めてまいります。

令和6年7月の梅雨前線豪雨により被災した46件の災害復旧事業については、国の査定設計が終了し、工事発注の準備を進めております。

農家の皆さんが営農を継続できるように、早期の復旧に向け全力を尽くしてまいります。

林業・商工関係

地域おこし協力隊の募集について

林業による地域活性化の取り組みや、森林整備等の林業を通じた就業機会の創出など、森林・林業に関する知識を習得しながら、活動終了後に林業事業体へ就職や起業を行う雇用型地域おこし協力隊を募集してまいります。

地域連携DMO形成事業について

大館市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村の4市町村で構成されている地域連携DMO秋田犬ツーリズムの専用ECサイト「こだわりAKITAセレクトショップ」に、上小阿仁村産の食用ほおずき、こはぜ、えごま関連商品を取り扱っております。

令和6年6月に秋田港で行われたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」来航イベントに参加し、上小阿仁村からは秋田杉木工品を販売・PRしております。

上小阿仁村観光総合パンフレットについて

村内の観光施設やグルメを案内する観光パンフレットを22年ぶりに刷新しました。村の風景や簡易地図のほか、お土産、特産作物など統一感

を持たせたデザインで作成しております。

ホームページへの掲載のほか、県内の観光拠点やイベントで配付しPRに努めてまいります。

除雪について

今シーズンの除雪一斉出動は12月9日が初出動となり、昨年より一週間ほど遅かったのですが、例年よりも出動回数が多いスタートとなりました。

寒波による降雪、その後の降雨や気温が高くなったことにより路面状態が悪化し、連続出動となったことから、1月の出動回数は前年並みでしたが、過去5年の最高出動回数の令和3年に匹敵する出動回数となっております。

学校教育関係について

令和7年度の上小阿仁小学校児童数につきましては、10名が卒業し、4名が入学します。

年度途中の転入生1名のほか、転出生が2名おりますので、今年度より7名減の37名となる予定です。

また、上小阿仁中学校の生徒数は8名が卒業し、9名が入学しますので、今年度より1名増の22名となる予定です。

したがって、令和7年度の上小阿仁小・中学校児童生徒数は59名となる予定です。

学級数は、義務教育学校学級編制基準により小学校は2・3年と4・5年が複式学級となり、普通学級が4学級、特別支援学級が1学級で計5学級となります。

中学校は普通学級が3学級、特別支援学級が1学級で計4学級となります。

幼児教育関係について

令和7年度の園児数は男15名、女12名、計27名の予定です。

診療状況について

昨年4月から今年1月までの診療状況は、医科外来が診療日数197日、患者数4千884人、1日平均患者数は25人となっております。昨年と比較して1日平均で2人の減となっております。

医科外来のうち毎週月曜日診療の泌尿器科につきましては、診療日数32日、患者数685人、1日平均患者数は22人となっております。昨年と比較して1日平均は同数となっております。

毎週水曜日と木曜日診療の歯科は、診療日数84日、患者数824人、1日平均患者数は10人となっております。昨年と比較して1日平均で1人の減となっております。

昨年10月から実施しました季節性インフルエンザの予防接種について、診療所で接種を受けた方は486人でした。同じく10月から実施した新型コロナウイルス感染症の予防接種については、診療所で接種を受けた方は325人でした。